

ほけんだより

3年生『命の大切さを考える
講演会③』を終えて…

令和5年2月28日
川越中学校 保健室

2月16日(木)に、助産師の矢野友起子先生をお招きして「命の大切さを考える講演会③」を開催しました！

3年生の皆さんを対象に、命の大切さを考える講演会、「中学生の性について考える～守ろう自分の心と体、考えよう愛と性～」が行われました。

助産師としての矢野先生のご経験から、主に助産師の仕事について、いのちの大切さや思春期の心と体の変化、デートDVなど若者の間で増えている問題、そして幸せな将来のために今から気を付けてほしいことについてご講演いただきました。

科学的、医学的にそして大切な人権を考える中で、正しい知識を知り、自分で判断することは、適切な行動につながります。自分と、いつか出会うかもしれない大切な相手の心と体を守るために、一人ひとりが自分の事、将来のことを考えてほしいと思います。



ここからは、3年生のみなさんの感想を一部紹介します。
ぜひおうちの人と一緒に読んでください。

○助産師の仕事についての感想

- ・助産師は助産師の免許と看護師の免許の2つ必要であること、国家資格であることを初めて知った。
- ・助産師の仕事は産むのを助ける仕事だと思っていたけど、産んでからも家庭訪問や、子育てで分からないところを教えてくれたり、妊婦体験や沐浴の練習体験を行ってくれたり、なくてはならない仕事だと思った。
- ・自分も将来助産師になりたいと思っているので、矢野さんのお話を聞いて、自分も大事な知識をたくさんの人に伝えられるような素敵な助産師になりたいと思った。



○自分の命にかかわる内容についての感想

- ・改めて大変な思いをして産んでくれたお母さんに感謝したいと思った。
- ・もうすぐ自分の誕生日が来るので、お母さんにも感謝を込めてプレゼントを準備しようと思った。
- ・自分は帝王切開で産まれたと聞いていたが、今回の話を聞いてさらに詳しく聞きたいと思い、母に話を聞いてみた。すると、逆子でへその緒が絡まっていて、緊急手術で産まれたが未熟児だったためNICUに入っていたことが分かった。この講演会を通して、自分が産まれてきた特別な日について親とも向き合うことができた。
- ・私たちが産まれたことは本当に奇跡なんだなと思った。



～性に関する正しい情報ウェブサイトなどの紹介～

- 三重県ウェブサイト：思春期の10のギモン 知りたいココロとカラダのQ&A
- 花王 ロリエ ウェブサイト：からだのノート おとなになるということ、からだの情報など
- 公益社団法人日本産婦人科医会：女性の健康 Q&A
- 一般社団法人日本家族計画協会：思春期相談LINE
- 性犯罪被害相談電話全国共通番号…#8103(ハートさん)
- みえ性暴力被害者支援センターよりこ…TEL：059-253-4115



○思春期の心と体の変化・お互いを知ることについての感想

- ・自分の性に関するだけでなく、異性の心と体の変化について学ぶことができてよかった。
- ・自分にとって性のことを知るいい機会になり、自分の体の事と異性の体の事を知る必要があるのだと分かった。愛があるからこそ、相手について考えなければならないと思った。
- ・性行為の話や体つきなどについて友達と話すのが怖いと思っていたから、改めてしっかり知れて、心が少し楽になった。女性も男性も互いにつらさがあり、それを理解したいと今回の話を聞いて思った。
- ・体がいつもと違うと感じたら、すばやく大人に相談したり、病院に行くことが大切だと感じた。

○デート DV(恋人同士の間で起きる暴力)・性暴力・性被害についての感想

- ・将来パートナーができた場合、それぞれの性と向き合った上でお互いを思いやっていけるように考えて行動したい。
- ・体への暴力だけでなく、心や経済を傷つけることも DV になると理解することができた。DV をしないために、自分も相手も傷つけないか考えて過ごしていきたい。
- ・性行為はその場の雰囲気でするのではなく、性感染症の予防と相手の同意を得た状態でないといけないと分かった。
- ・自分の思う性交と今日学んだ性交では違った部分があったので、しっかり学べて良かった。2人で話し合っている事が大切。
- ・たとえ好き同士でも無理やりではなく、「NO」と言えるような関係がいいなと思った。



○保護者(PTA)の方々の感想

- ・「望まない時期の妊娠」、「性感染症」の内容はもしかしたら中学生にはまだピンとこない・関係ないと感じてしまうかもしれませんが、早い段階から知っておいてほしいことだと思いました。自分の心と体を守ること、相手を思いやり相手の心と体を傷つけないことを人との関わりの中で身につけてほしいと思います。
- ・性についての話は、一人ひとり自分の心・他人の心の間人間関係やライフプラン、人生そのものを学ぶということなのだと思えました。私たち保護者の性知識もとても十分とは言えないので、今回のように保護者にも会話がオープンであることは良いことだと思えますし、親子で情報を共有できることはとても大切なことだと思えます。

誰を好きになってもいいし、好きにならなくてもいい。しかし、これから先、みなさんがもし誰かを好きになったときに自分と相手を傷つけないための知識を身につけてほしい。周りに性に関する事で悩んでいる友達がいたら、相談に乗るときに今回の講演会の内容を思い出してほしい。そう願っています。

性に関する事は、人に話しにくいかもしれませんが、しかし、大切なことです。知っていても、知らなくてもおかしいことではありません。保健室では性に関する本が置いてあり、誰でも読めます。また、相談にも乗っています。身近な人に相談しにくい時には、紹介した相談窓口も活用してくださいね。

今回、講演に参加したのは3年生でしたが、1、2年生のみなさんもぜひ表面で紹介したウェブサイトを見てみてください♪

